

平成27年度事業報告書

〔平成27年4月1日から
平成28年3月31日まで〕

平成27年4月1日から平成28年3月31日までの当財団の平成27年度事業概況について、以下のとおりご報告申し上げます。

事業概況

当財団は、地下鉄博物館の運営を通じて地下鉄に関する知識の普及を図るほか、交通文化事業及び交通マナー事業を推進し、交通文化の発展に寄与するよう努めております。

平成27年度は、以下のとおり各事業を実施いたしました。

I 事業

1 博物館事業

地下鉄に関する資料等の収集、展示、解説及び案内等を通じて、お客様、特に小・中学生など若い世代の方々に対し、地下鉄に関する知識の普及と理解を深めていただくため、地下鉄博物館の管理・運営を行いました。

本年度は、下記の特別展やイベント等を開催したほか、施設の改良、展示物の更新等を行いました。

本年度の入館者数については、特別展やイベント開催情報の提供のほか、メディアによるテレビ放映、東京メトロ情報誌「メトロウォーカー（産業遺産特集）」に掲載等の結果、168千人（対前年比4.8%増）となりました。

なお、平成28年2月には地下鉄博物館が昭和61年7月に開館して以来400万人の入館者数を数えました。

(1) 特別展の開催

ア「日比谷線車両の技術変遷展～3000形車両から現在まで～」

（平成27年6月16日から8月2日まで開催）

運輸大臣（現在の国土交通大臣）の諮問機関である都市交通審議会（現在の運輸政策審議会）は、昭和31年8月、「ターミナル駅での混雑を解消するためには、郊外から都心までの直通運転が必要」とされ、地下鉄と郊外電車との相互直通運転等を内容

とする答申が行われました。

日比谷線は、この答申及び運輸省の指導により、都市部と東京の北部及び西南部の郊外とを結ぶ交通動脈として北千住と中目黒の両ターミナルで、それぞれ東武鉄道伊勢崎線、東急電鉄東横線との相互直通運転を行うため、車両寸法その他緒元規格を両社の路線にあわせて建設されました。

昭和36年3月、営団地下鉄（現在の東京地下鉄株式会社）として初めて軌間1,067mm、直流1500vの架空電車線方式の電車が日比谷線最初の開業区間である南千住～仲御徒町間の開通とともに走り出しました。

日比谷線に使用する3000形車両は、丸ノ内線300形車両の高性能部分をさらに発展させ、相互直通運転に使用する車両として地上線と地下線の異なった運転条件を満足させるため、車両の機能、性能について新技術が導入されました。また、車両の設計に当たっては、車体の外板は普通鋼板に塗装する従来方式から、塗装設備の省略、保守費用の削減などを考慮し、無塗装化としてステンレス鋼板を使用するとともに、車内にも工夫が施されました。その後、昭和63年7月から新型車両03系が登場し、現在に至っております。

この特別展では、営団地下鉄として初めて相互直通運転を行った日比谷線車両の各種技術、装置の変遷を取り上げ、3000形車両から03系車両に至る経緯などを年表やパネル等により紹介しました。

イ「地下鉄建設の歴史展～東京の地下鉄を中心として～」

（平成27年11月17日から平成28年1月11日まで開催）

東京の地下鉄は、東京メトロ（東京地下鉄株式会社）と都営地下鉄（東京都交通局）によって運営され、現在、東京メトロ9路線、都営地下鉄4路線、合計13路線304.1キロを営業し、両社を合わせて一日平均934万人（平成26年度実績）を超えるお客様に利用されています。

都市生活に無くてはならない地下鉄ですが、地下鉄建設の起源は大正時代にさかのぼります。日本で最初の地下鉄は、東京地下鉄道株式会社の手によって上野～浅草間が建設され、その後、新橋まで延伸されました。一方、東京高速鉄道株式会社によって渋谷～新橋間が建設され、現在の銀座線の路線となりました。その後、帝都高速度交通営団に引き継がれ、戦後初の地下鉄である丸ノ内線を始め、日比谷線、東西線と順次建設されました。また、都営地下鉄は、昭和33年8月に都営浅草線を始め、三田線、新宿線、大江戸線と順次建設されました。

この特別展では、東京に地下鉄が建設された歴史とともに、地下鉄建設が東京の地

盤との戦いであり、どのルートに建設するか、どんな工法で建設するかなどのほか、知らされる建設秘話についても年表や写真パネル等により紹介しました。

なお、特別展の開催にあたり、東京都交通局、一般社団法人東京都地質調査業協会様のご協力をいただきました。

ウ「東京の地下鉄における乗車券の変遷展」

(平成28年3月1日から4月17日まで開催)

鉄道などの乗り物に乗車するためには、乗車券が必要です。日本で最初の地下鉄には、乗車券は存在しませんでした。その後、乗車券が登場し、路線延長やネットワーク化に伴い、運賃制度も均一制から対キロ区間制に変わり、乗車券の購入方法や乗車する出改札の機械化など時代とともに乗車券は変化してきました。

営団地下鉄（現在の東京地下鉄株式会社）での乗車券の購入方法は、当初、手売が主流でしたが、裏面が磁気式の乗車券の登場、さらにはプリペイドカード式乗車券や乗車区間の運賃が減算されるストアードフェアシステム式乗車券などの新たな乗車券の登場とともに、自動券売機や自動改札機も改善されてきました。平成19年3月からは新しい交通ICカード「PASMO」のサービスが開始され、JRで既に発行していた「Suica」との相互利用が可能となりました。

この特別展では、地下鉄の乗車券の変遷（紙製乗車券の登場、乗車券の磁気化、プリペイドカード化、ICカード化）を中心に、自動券売機、自動改札機の変遷についても取り上げ、各時代の乗車券、メトロカード等の実物を展示するとともに、年表や写真パネル等により紹介しました。

なお、特別展の開催にあたり、東京都交通局様のご協力をいただきました。

エ「祝米寿 東京地下鉄道1001号車誕生88周年記念展」

(平成27年12月15日から平成28年1月31日まで開催)

地下鉄博物館に展示している東洋初の地下鉄車両1001号車（産業遺産）は、昭和2年に製造され、平成27年12月30日には登場してから88年（米寿）を迎えました。それを記念して、当該車両の概要、特徴、保存・復元の軌跡（改造履歴）などを写真パネル等により紹介しました。

なお、この特別展は、通常の特別展より小規模な展示として1001号車内及びプラットフォーム上で実施しました。

(2) イベントの実施

入館されたお客様に楽しんでいただけるよう、春休み、ゴールデン・ウィーク、夏休み、鉄道の日など各期間を捉えて「館内探検クイズ」「○×クイズ大会」「電車と遊ぼう！パズルに挑戦」「紙風船で遊ぼう」「手作教室」「館内キッズツアー」「みんなでぬり絵をしよう！」「新春輪投げ大会」などのイベントを行いました。また、オリジナルキャラクター「ぎんちゃん・まるちゃん」との「ふれあい会」についても適時行いました。

(3) 教育実習活動

学芸員資格取得のための博物館実習のほか、近郊の中学校からの要請による職場体験学習（チャレンジ・ザ・ドリーム）の受入れ等教育実習活動を行いました。

また、昨年度に引続き東京都市大学附属中学校の要請による企業研究講座の実施や昭和鉄道高等学校からの要請による職場体験学習の受入れを行いました。

(4) 地下鉄関連資料の収集、保存及び公開

地下鉄に関する各種資料、写真等を継続的に収集、整理、保存しました。また、これまでデータベース化した貴重な資料を活用し、広く一般に公開している「メトロアーカイブアルバム」の拡充のため、内容の更新を行いました。

(5) 展示物の更新及び施設の改良等

本年度実施した主な展示物の改良等は、次のとおりです。

- ア 中央監視装置（防災設備を含む。）ほか施設改良（経年使用による更新）
- イ 運転シミュレーター操作用パソコン機器更新（基本ソフトの更新ほか）
- ウ ターゲットスコープによる案内装置改良（音声ガイダンスを付加した全面改良）
- エ その他（車両のしくみコーナーの展示通路新設、自動改札機の更新ほか）

本年度も博物館の管理・運営については、なお一層多くのお客様に来館していただけるよう、ポスターやホームページ、携帯サイトなどの情報媒体のほか、新たに博物館情報を提供するツールとして **Twitter** の開設を通じて特別展や各種イベント等を紹介するとともに、テレビ局、新聞社・雑誌社等メディアの取材、インタビューに積極的に対応し、博物館のPR活動を推進しました。

2 交通文化事業

音楽会、絵画展、写真教室、歴史教室等の催しを通じて、多くの方々に、文化的で豊かな日々を提供するため、次の事業を実施しました。

(1) メトロコンサートの開催

音楽文化の普及を図る文化活動の一環として、地下鉄博物館ホール及び駅構内において、メトロコンサートを次のとおり8回開催しました。

	開催日	コンサートタイトル及び出演者	来場者数
地下鉄博物館	H27.7.18	第62回 “ゴスペルからポップスまで！心も体も動きだす！” 出演者：ビックリトル（メゾアルト、アルト、メゾソプラノ、ソプラノ）、ピアノ、ヴァイオリン	270人
	H27.9.5	第63回 “アコーディオンの魅力がいっぱい！” 出演者：伊藤浩子（ボタン式アコーディオン） 津花幸嗣（同上）	251人
	H27.12.12	第64回 “クリスマスコンサート～歌のおくりもの～” 出演者：一村誠也（フルート） ほか（ソプラノ、ヴァイオリン、チェロ、ピアノ）	311人
	H28.3.26	第65回 “ピアノで奏でる名曲の数々” 出演者：塩田純子（ピアノ）	295人
駅構内	H27.6.23	第2回 ステーションコンサート in 渋谷 「サクソフォークァルテット」「トロンボーンクァルテット」 出演者：東京藝術大学音楽学部学生ほか	637人
	H27.7.29	第3回 ステーションコンサート in 渋谷 「フルートクァルテット」「金管五重奏」 出演者：東京藝術大学音楽学部学生ほか	623人
	H27.10.24	第4回 ステーションコンサート in 渋谷 「弦楽の室内楽」「ピアノソロ・ピアノカルテット」 出演者：東京藝術大学音楽学部学生ほか	444人
	H27.10.25	第5回 ステーションコンサート in 渋谷 「弦楽トリオ・ピアノカルテット」「ピアノソロ・ピアノクインテット」 出演者：東京藝術大学音楽学部学生ほか	399人

(注) 駅構内でのコンサートのうち 10.24 及び 10.25 は、渋谷音楽祭の一環として開催。

(2) メトロポリス・クラシックスコンサートの開催

気軽にクラシック音楽に触れていただくため、当財団のホームページやメトロニュース等で参加者の募集を行い、22,454人の応募者の中から厳選のうえ、2,000人を招待し、東京芸術劇場において、次のとおりコンサートを開催しました。

・第10回「メトロポリス・クラシックス」コンサート（平成27年7月5日開催）

テーマ“心に響くドラマティックメロディー”

出演：東京都交響楽団ほか

来場者1,624人

(3) 音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）の開催

福祉活動に寄与するため、都内の福祉施設、病院等において「音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）」を次のとおり開催しました。

回数	開催日	施設名及び出演者	来場者数
65	H27.5.21 新規施設	社会福祉法人 賛育会 特別養護老人ホーム マイホーム新川 (中央区) 出演者：東京都交響楽団メンバーほか	69人
66	H27.6.10	社会福祉法人 東京栄和会 一番町特別養護老人ホーム (千代田区) 出演者：東京都交響楽団メンバーほか	79人
67	H27.7.15	順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター (江東区) 出演者：東京都交響楽団メンバーほか	250人
68	H27.9.3	東京慈恵会医科大学附属病院 (港区) 出演者：東京都交響楽団メンバーほか	105人
69	H27.9.16 新規施設	聖路加国際病院 (中央区) 出演者：東京都交響楽団メンバーほか	115人
70	H27.10.22 新規施設	社会福祉法人 東京栄和会 特別養護老人ホーム なぎさ和楽苑 (江戸川区) 出演者：ララ・カンツォーネ	103人
71	H27.11.26	社会福祉法人 あそか会 特別養護老人ホーム 江東ホーム (江東区) 出演者：ララ・カンツォーネ	71人
72	H28.1.20 新規施設	社会福祉法人 聖風会 特別養護老人ホーム 扇 (足立区) 出演者：ララ・カンツォーネ	60人

(4) メトロ文化展の開催

絵画、写真及び文学に係る作品を募集して、その中から優秀作品等を選び展示する「メトロ文化展」を次のとおり開催しました。

ア 児童絵画の部

地下鉄に関する知識や興味を持っていただけるように、小学生を対象に安全やマナー等に関する絵画作品を募集した結果、9,231点の応募がありました。2人の審査員により、応募作品の中から優秀作品300点及び奨励賞作品300点を選び「メトロ文化展 児童絵画の部」として次のとおり展示しました。

- ・第一次展示（「鉄道の日（10月14日）」を挟む平成27年10月3日から10月14日まで）

優秀作品（特選） 30点を銀座駅コンコースに展示

優秀作品（特選を除く。）270点を日本橋駅コンコースに展示

- ・第二次展示（平成27年10月16日から10月23日まで）

奨励賞作品300点を日本橋駅コンコースに展示

- ・第三次展示（平成27年10月27日から11月8日まで）

優秀作品及び奨励賞作品の600点を地下鉄博物館に展示

審査員：小野孝一氏（現代童画会常任委員）

川内 悟氏（公益社団法人二科会常務理事）

イ 写真の部

撮影テクニックの習得をはじめ、都内の名所旧跡、下町風情の残る地域などを撮影する喜びを体験していただくため、当財団のホームページやメトロニュース等で参加者を募集し、専門家による写真教室及び撮影会を次のとおり2回開催しました。

また、撮影作品の中から選考のうえ、日本橋駅コンコース及び地下鉄博物館において「メトロ文化展 写真の部」として展示しました。

- ・第36回 写真教室及び撮影会（平成27年5月16日開催）

場 所：神田周辺（ニコライ堂、湯島聖堂、神田明神ほか）

応募者 102人 参加者 39人（定員50人）

講 師：中谷吉隆氏（公益社団法人日本写真家協会名誉会員）

作品展示：82点を展示

日本橋駅コンコース（平成27年7月18日から7月27日まで）

地下鉄博物館（平成27年8月18日から8月30日まで）

また、地下鉄博物館では、同期間「写真で見るメトロ写真教室の歩み」と題して、講師中谷吉隆氏の第1回から第5回までの作品も併せて展示しました。

・第37回 写真教室及び撮影会（平成27年10月17日開催）

場 所：四ツ谷～赤坂見附周辺

応募者 118人 参加者 45人（定員50人）

講 師：同 上

作品展示：82点を展示

日本橋駅コンコース（平成28年1月16日から1月25日まで）

地下鉄博物館（平成28年2月2日から2月14日まで）

また、地下鉄博物館では、同期間「写真で見るメトロ写真教室の歩み」と題して、講師中谷吉隆氏の第6回から第10回までの作品も併せて展示しました。

ウ 文学の部

電車内で、文化的な雰囲気と潤いを感じていただくため、「東京で感じるあなたの心」をテーマにした「詩」の募集を春と秋の2回、当財団のホームページやメトロニュース等で行いました。応募された作品の中から優秀作品6編を選び、電車内中吊りポスターで掲出するとともに、入選作品20編を選び、「写真の部」と同時に日本橋駅コンコース及び地下鉄博物館で「メトロ文化展 文学の部」として展示しました。

・第21回募集（平成27年4月1日から5月31日まで）

応募数：166編（124人）

選 者：白石公子氏（詩人、エッセイスト）

作品掲出：優秀作品6編

電車内（平成27年7月1日から12月31日まで）

作品展示：優秀作品6編及び入選作品20編

日本橋駅コンコース（平成27年7月18日から7月27日まで）

地下鉄博物館（平成27年8月18日から8月30日まで）

・第22回募集（平成27年10月1日から11月30日まで）

応募数：401編（268人）

選 者：同 上

作品掲出：優秀作品6編

電車内（平成28年1月1日から6月31日まで）

作品展示：優秀作品12編及び入選作品20編

日本橋駅コンコース（平成27年1月16日から1月25日まで）

地下鉄博物館（平成27年2月2日から2月14日まで）

(5) 沿線地域文化の紹介

地下鉄沿線の地域文化の振興や伝承支援に寄与するため、沿線地域における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等を財団のホームページや「Echika 池袋ギャラリー」において紹介しました。

本年度は、豊島区における上記紹介を「いきいき TOKYO 夢 TOSHIMA」「いきいき TOKYO 夢職人」として次のとおり行いました。

- ・財団ホームページに掲載（平成28年2月9日から1年間）
- ・「Echika 池袋ギャラリー」で展示（平成28年1月30日から2月28日まで）

(6) メトロ歴史教室・歴史散歩の開催

都内に残る名所旧跡など歴史的文物を知っていただくため、当財団のホームページやメトロニュース等で参加者を募集し、専門家による解説と現地を探訪する歴史教室・歴史散歩を次のとおり2回開催しました。

ア 第26回 歴史教室・歴史散歩（平成27年11月14日開催）

場 所：明治の文豪の足跡をみる（千駄木・本郷界限）

応募者 148人 参加者 33人（定員50人）

講 師：山田 徹氏（大学講師：地理学・地誌学専門）

イ 第27回 歴史教室・歴史散歩（平成27年11月21日開催）

場 所：同 上 応募者 100人 参加者 40人（定員50人）

講 師：同 上

(7) Echika 池袋ギャラリーの管理運営

駅におけるゆとりと潤いのある文化的空間の創造、さらには文化芸術の薫る街を目指す地元地域の発展に寄与するため設置された「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営を行いました。展示は地元豊島区と分担して行い、当財団については、次のとおり展示を行いました。

展示期間	展示内容
H27.5.30～6.29	平成26年度における東京藝術大学美術学部・大学院美術研究科の「卒業・修了作品展」の中で、優秀な作品として選ばれた4作品
H27.8.1～8.30	「川開きと隅田川花火大会」と題して、江戸時代以来の伝統を誇る隅田川花火大会の歴史を振り返り、両国橋や納涼船から花火見物をする人々を描いた6作品

	<ul style="list-style-type: none"> ・歌川広重：「名所江戸百景 両国花火」、「東都名所 両国花火之図」 ・歌川国郷：「東都名所 両国繁栄河開之図」 ・昇齋一景：「東京名所三十六戯撰 両国花火」 ・永島春暁：「東京両国橋 川開大花火之図」 ・小林清親：「両国花火之図」
H27.12.26 ～H28.1.28	<p>「江戸の生きもの」と題して、浮世絵で多くの風景画を手がけた歌川広重の代表作「名所江戸百景」シリーズから、江戸名所の折々の景色とともに生きものの姿を紹介した10作品</p> <p>①「名所江戸百景 蓑輪金杉三河しま」〈鶴〉、②「名所江戸百景 深川萬年橋」〈亀〉、③「名所江戸百景 浅草田圃西の町詣」〈猫〉、④「名所江戸百景 深川洲崎十万坪」〈鷺〉、⑤「名所江戸百景 鎧の渡し小網町」〈燕〉、⑥「名所江戸百景 駒形堂吾嬬橋」〈不如帰〉、⑦「名所江戸百景 逆井のわたし」〈白鷺〉、⑧「名所江戸百景 よし原日本堤」〈雁〉、⑨「名所江戸百景 芝うらの風景」〈ユリカモメ〉、⑩「名所江戸百景 愛宕下藪小路」〈雀〉</p>

(8) パブリックアートの設置・管理

芸術文化の振興に寄与し、人々の心に潤いを与えるため、駅構内に設置した「パブリックアート」の維持管理を行いました。

パブリックアートは、現在、副都心線西早稲田駅に2作品、北参道駅に1作品及び有楽町線豊洲駅に1作品の合計3駅4作品を設置しています。

また、昨年12月に銀座駅コンコースに設置した「Glass Box Metro Ginza」(メトロ銀座ギャラリー)の展示管理を行いました。

3 交通マナー事業

交通マナーの高揚を図り、あわせて地下鉄に対する親しみを深めていただくため、次の事業を実施しました。

(1) マナーポスターの制作・掲出

交通マナーの高揚を図るため、交通道德宣伝用マナーポスターを制作し、毎月東京メトロの全駅及び電車内に掲出しました。

本年度は、地下鉄をご利用いただく際のマナーを、演劇風のコミカルな「マナー劇場」で表現し、マナーを見守るキャラクター「ミテルちゃん」が、まわりのお客様の

声を代弁するポスターとしました。

(2) 「地下鉄のはなし」の制作・配布

小学生を対象として、交通マナー、地下鉄の歴史、役割、安全への取組み等を解説した小冊子「地下鉄のはなし」を15万部制作し、地下鉄博物館及び東京メトロ主要駅において配布しました。

(3) 鉄道教室の開催

交通マナーや地下鉄に関する知識を深めていただくため、小学生とその保護者を対象に、当財団のホームページやメトロニュース等で参加者を募集し、駅施設見学、地下鉄博物館でのセミナー等を行う「鉄道教室」を次のとおり開催しました。

・第15回 鉄道教室（平成27年8月22日開催）

場 所：東西線妙典駅、妙典乗務管区車掌事務室・運転事務室、地下鉄博物館

内 容：施設見学（駅員、車掌及び運転士の仕事、職場の仕事等）

セミナー①「日本で最初の地下鉄物語」、②「鉄道を利用するマナー」

駅員・乗務員との意見交換会

応募者 756人

参加者 89人（定員100人）

(4) 啓蒙用グッズ類の配布

交通道德宣伝用啓蒙グッズを制作し、各種イベント参加者等に配布しました。

Ⅱ 庶務

1 理事会

(1) 平成27年度第1回(平成27年6月4日開催)

ア 「平成26年度事業報告及び計算書類の承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「定時評議員会の招集に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「会長及び業務執行理事の職務執行状況について」報告がありました。

(2) 平成27年度第2回(平成27年6月19日開催)

ア 「業務執行理事の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「業務執行理事の業務分担に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「役員報酬に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

エ 「顧問の委嘱に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「定時評議員会の審議内容について」報告がありました。

(3) 平成27年度第3回(平成28年3月14日開催)

ア 「平成28年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みの承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「会長及び業務執行理事の職務執行状況について」報告がありました。

2 評議員会

(1) 平成27年度定時評議員会(平成27年6月19日開催)

ア 「平成26年度事業報告及び計算書類の承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「評議員の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「理事の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「理事会の審議内容について」報告がありました。

3 官庁事項

内閣府への届出等事項は、次のとおりであります。

- (1) 平成27年 6月29日 ・平成26年度事業報告等提出
- (2) 平成27年 7月 1日 ・評議員及び理事変更届出
- (3) 平成27年11月20日 ・平成26年度事業報告等修正提出
- (4) 平成28年 3月24日 ・平成28年度事業計画書等提出

4 登 記

今期における登記事項は、次のとおりであります。

- (1) 平成27年 6月19日 ・高橋宏之評議員就任登記、湯座正和評議員退任登記、篠原新治理事重任登記、荒井邦雄理事退任登記

5 役 員

- (1) 平成27年 6月19日 ・篠原新治理事重任
・荒井邦雄理事退任

今期末における役員は、次のとおりであります。

会 長 (代表理事)	梅 崎 壽
理 事 長	梁 川 卓
専務理事	竹 内 良 治
理 事	篠 原 新 治
理 事	賀 山 弘 之
理 事	内 田 喜 恵
理 事	白 石 公 子
理 事	鈴 木 嵯 峨 子
理 事	竹 内 誠
理 事	中 谷 吉 隆
理 事	平 松 英 子
監 事	吉 田 茂
監 事	巻 島 豊

(理事 11人、監事 2人)

6 評議員

- (1) 平成27年 6月19日 ・高橋宏之評議員就任
・湯座正和評議員退任

今期末における評議員は、次のとおりであります。

川 田 博 之、 小 林 秀 徳、 實 方 健、 鈴 木 章 生
高 橋 宏 之、 辻 恵 子、 花 上 嘉 成、 平 野 直 樹
山 田 徹、 若 林 功

(10人)

7 従業員

今期末における従業員数は、30人であります。

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成28年6月

公益財団法人 メトロ文化財団